

(様式1)

施設指定管理者モニタリングチェックシート

平成 30 年 1 月～ 3 月期

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	シンコースポーツ株式会社 名古屋支店
指定期間	平成 27年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日
所管課	豊明市高齢者福祉課

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A	条例は確認しながら実施している	
	人人体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A	人人体制は多めに配置している。	
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A	救命救急受講者を含め有資格者を配置。	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A	毎日管理日誌を作成し、記録されていることを確認。	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A		
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A	前年度比103.9%	A	利用者は年間1000人程減だが、前年同月比からは増。	
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A		A	手続きは発生していない。	
	【保守点検並びに清楚業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A		A	福祉体育館に合わせて実施。	
	定期的に清掃、除草、剪定等が行われているか	A		A	福祉体育館に合わせて実施。	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	市に報告できている。日誌からも確認。	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A		A	大きな危険箇所はない。	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A	下記1点を実施。	A	修繕箇所確認。適切に修繕が行われている。	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A	業務報告にきちんと記載している。	
	備品は適切に管理しているか	A		A		
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A		A		
	自主事業は適切に実施されたか	A		A	3月にオカリナ演奏会、落語発表会を開催。多数の利用者が参加。	
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		
	【①に係る指定管理者の自己評価】 ・浴室シャワー調整器取替え修繕を実施しました。					
	【①に係る施設所管課の評価】 毎日、業務日誌を作成し管理されている。また、修繕箇所や市に報告すべき事項については、速やかに報告されている。 自主事業も定期的実施されており、多数の利用者が参加しており、施設側も工夫しながら自主事業を実施している。 利用者数は年々減少しているものの、今回は前年同月比に比べて利用者数は増えている。				区分評価	A

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考
② サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】				
	窓口対応は適切に行われているか	A		A	別紙アンケート結果からも確認。
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A		A	年2回(2月・7月)に利用者アンケート実施。
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A	ドアが開くと玄関付近が寒いとの声があり、暖房強くして対応。
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	今回のモニタリング期間中に事故はない。
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A	清掃員が毎日清掃実施。
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A	囲碁は貸出部品としているが、適正に管理されている。
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A	参加者も多かった。
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】				
	マッサージ器(スカイウェル)の設置による利用者満足度の向上	A	継続利用者が数名存在。昨年度利用比 約155%	A	午前中は利用者多い。
	浴室用物販の開始による利用者満足度の向上	A	定期購入者が数名存在。昨年度比 約216%	A	石鹸の種類を変え、購入者が増えている。
	HPIによる広報・PR活動により利用者の増加	A		A	PR活動は広報等を利用して実施。
	【②に係る指定管理者の自己評価】 ・スカイウェルにおいて、前年度比約155%(1月度約154%、2月度約147%、3月度約163%)と昨年度からの利用増となりました。イベントの実施は出来ませんでした。既存のお客様による継続した利用と福祉体育館利用者への周知により29年度の中で最大件数の利用がありました。 ・利用者数においては昨年度比103.9%となりました。第4四半期ではお風呂の利用者は前年度比94.6%となり、大幅に減少することはありませんでした。介護予防事業の利用者が前年度に比べ多くいるため増加となっています。				
【②に係る施設所管課の評価】 ・スカイウェルは利用者数が増えている。利用者アンケートを今期間中に実施し、利用者の満足度も高い結果である。 ・今後、利用者増加に向けて広報の定期的掲載やチラシ作成等を検討し、実施することを伝える。まずは定期的に広報掲載から行っていく。 ・毎日利用している利用者も多い。				区分評価	A
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B		B	支出を見直し、黒字。
	必要な帳簿は備えられているか	A		A	物販購入等の帳簿は管理されている。
	経理処理は適正に行われているか	A		A	
	収入増加のための取組がなされているか	A		A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A	他施設でも指定管理を受けている。
	【③に係る指定管理者の自己評価】 ・イベント等において支出が抑えられたことに加え、スカイウェル等の有料サービスの増収により黒字収支となっています。				
	【③に係る施設所管課の評価】 ・指定管理者としての実績を踏まえて適切にサービス提供が行われている。				区分評価

【項目評価】

- S (優良) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A (良好) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B (課題あり) : 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C (要改善) : 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S (優良) : 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A (良好) : 項目評価が全てA以上。
- B (課題あり) : 項目評価にBがある。
- C (要改善) : 項目評価にCがある。